

■ 1.1 耐久設計の考え方

「耐久設計」とは、新築する建物またはその部分が使用に耐えられなくなるまでの年数を計画するものと定義する。本書で対象としている鉄筋コンクリート造建物は、図 1.1.1 に示すように致命的になるコンクリート中の鉄筋の発錆に大きく係わる要因として、躯体コンクリートの圧縮強度および耐久性を考慮して耐久設計することを原則としている。

圧縮強度については 1.4 に、ひび割れ幅・中性化・かぶり厚さについては 1.5 に、それぞれ詳述している。また、理解を深めるために、1.7.2 に RC 造躯体コンクリートの耐用年数等を予測するための例題を付した。

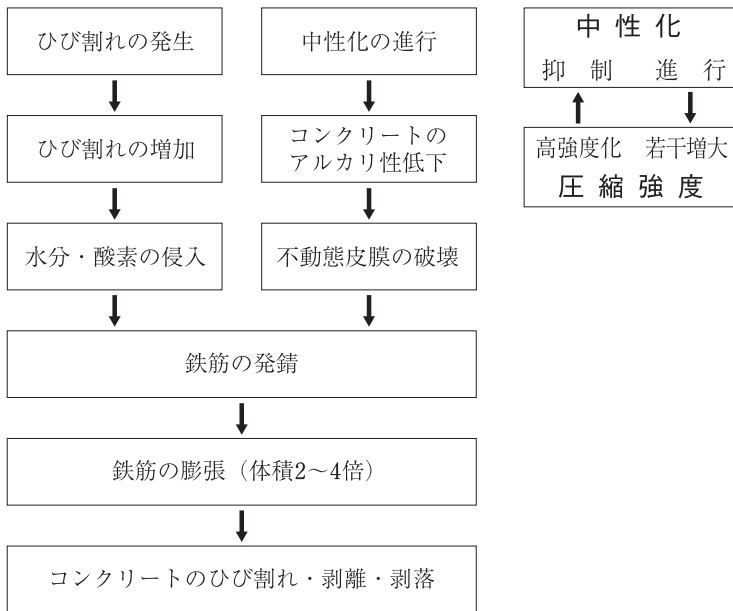


図 1.1.1 コンクリートのひび割れ・中性化と鉄筋の発錆、
中性化の進行と圧縮強度の関係